

『協働推進懇話会内『テーマに対する具体的なアイデア出し』について

*コロナ禍という事を前提にしておりません。ご了承ください。

NPO 法人みんなで元気 山川由美子



①働く人を巻き込む

あまり地域に関わってこなかった方を新たに無理なく巻き込みたいので、一寸足を止めてもらう、気にかけてもらう、目に留まる、息抜きやりフレッシュとなるような仕掛けをつくる。

例えば、ホッとできるカフェ、地域野菜の販売、何かしらの人だけがある、など。

その後、スキルを活かすお気軽講座の先生になってもらう（例えば、スマホ操作の仕方、地域の消防士さんからの防災話、子供向けに身近なものを使った簡単実験・工作など）得意分を披露してもらう（楽器演奏、読み聞かせなど）へ発展させる。

巻き込む側もしつこくない程度に、フレンドリーでウエルカムであることは大切かと・・・。

すでに地域で何かしらの活動をされている方々（特にパパ連）と連携すると良いかも・・・。

②何かしらのキーワードで繋がる

「ちょっといいじゃんこの街！」

山川委員提供資料（別紙2）

最初から大きな規模でスタートしなくても、自分の生活圏の小さい規模で継続していくと顔見知りが増えて、ちょっと住むことがちょっと楽しくなるかも・・・。

③具体案（提供した写真をもとに）

- ・公園も使いながらプチイベントの開催。小さな音楽会、紙芝居、移動販売、キッチンカーなどの活用、日なたぼっこカフェ、お気軽講座、道遊び、昔あそび など
- ・第3小学校地区社協との連携
- ・近くにある高齢者住宅や共生型福祉施設との連携
(存在を知ってもらう機会や利用者の外出の機会を作る)
- ・大和中学校、第3小学校との連携